

平成31年度入試【推薦入試Ⅰ】

小論文

(総合理工学部 建築デザイン学科)

注 意

- 1 問題紙は、指示があるまで開いてはならない。
- 2 問題紙 4ページ、解答用紙 4枚、下書き用紙 4枚である。
指示があつてから確認し、解答用紙・下書き用紙の所定の欄に受験番号を記入すること。
- 3 解答は、すべて解答用紙の所定のところに記入すること。
- 4 解答用紙・下書き用紙は、持ち帰ってはいけない。
- 5 問題紙は、持ち帰ること。

建築デザイン学科 小論文 問題

【問題1】

写真1に示す松江城と城下町は、江戸時代の初期に築城・整備され、城の天守は幾度かの修復を経験しているが、ほぼ築城当時の姿を現在に伝えている。加えて、現在の松江市街地は城下町として栄えた基盤の上に形作られている。

写真2、写真3に示す建物は、それぞれ近年に松江市内に建設された比較的大型の建物である。

これらの写真を見て、以下の設問について合計600字以内で記述しなさい。

- (1) 写真2、写真3に示す2つの建物の外観において、共通する特色を具体的に説明せよ。
- (2) 城下町に新しい建物を計画する際に配慮すべき事柄とその理由、それらを配慮した結果として考えられる効果について説明せよ。

建築デザイン学科 小論文 問題



写真1 松江城



写真2 松江市内のテレビ放送局本社建物



写真3 松江市総合体育館

建築デザイン学科 小論文 問題

【問題2】

以下は林晴男氏（京都大学防災研究所教授）の「防災と危機管理」に関する文章の冒頭部分である。これを読んで、その後の2つの問いに対する自身の考えを合計600字以内で記述しなさい。

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(『持続可能な社会をめざして 「未来」をつくるESD』，平凡社，2014年より)

建築デザイン学科 小論文 問題

- (1) ハザード (H) に対する都市や集落の暴露(ばくろ)量 (E) を変えるために、長い時間をかけても対策として考えられることを具体的に記述せよ。
- (2) 構造物や人の脆弱(ぜいじゃく)性 (V) を克服するためにできることを具体的に記述せよ。